

中国東部の少雨について

1. 概況

「全球異常気象監視速報」第 467 号にあるように、中国東部では少雨が続き、干ばつによる農産物への大きな被害が伝えられている。

2. 少雨の状況

中国東部では、2008 年 10～1 月の 4 か月降水量が平年の 3 割前後となった（図 1）。中国・河南省のチェンチョウ（鄭州）では、2008 年 8 月から少雨傾向が続いている（図 2）。特に、10～12 月の 3 か月降水量は 29mm（平年値：75.7mm）で、30 年に 1 回程度かそれ以上の異常少雨だった。また、気温は平年より高い状態が続いている。この状態は 2 月に入っても変わっていない。

3. 大気の流れ

中国東部で異常少雨となった 2008 年 10～12 月の上空の天気図（図 3）を見ると、中国東北区付近で上空の気圧の谷が平年より深かったことに伴い、中国東部では平年より北西の流れが強かった。このため、中国東部では南からの暖かく湿った気流が入りにくく、低気圧の影響を受けにくかったと考えられる。

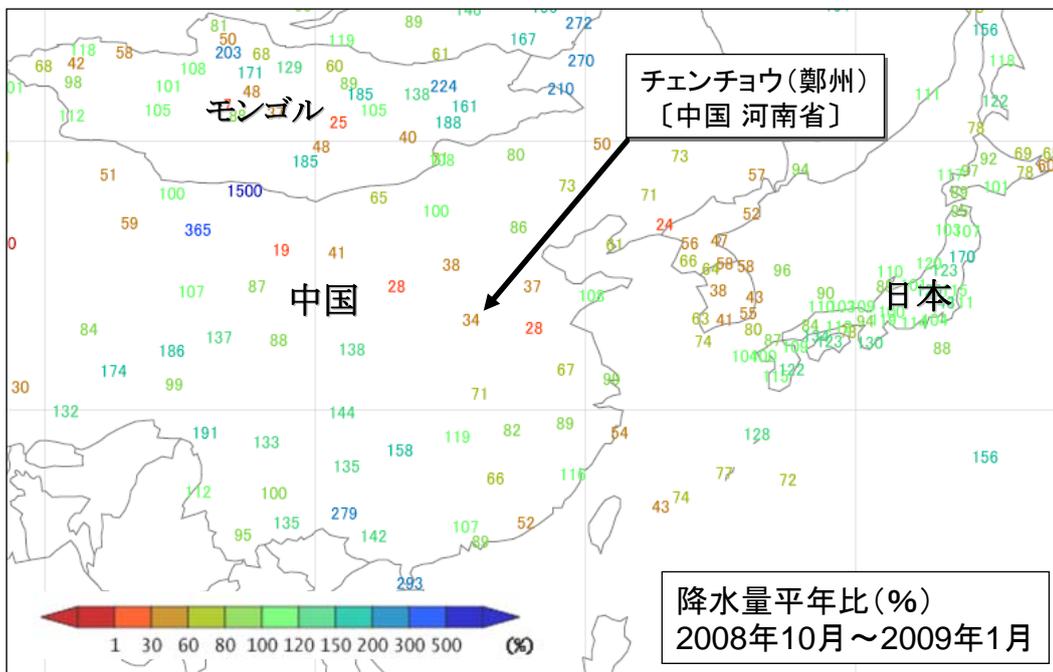


図 1 2008 年 10 月～2009 年 1 月の 4 か月降水量平年比分布図

各国の気象機関からの月毎の気象通報データに基づく。

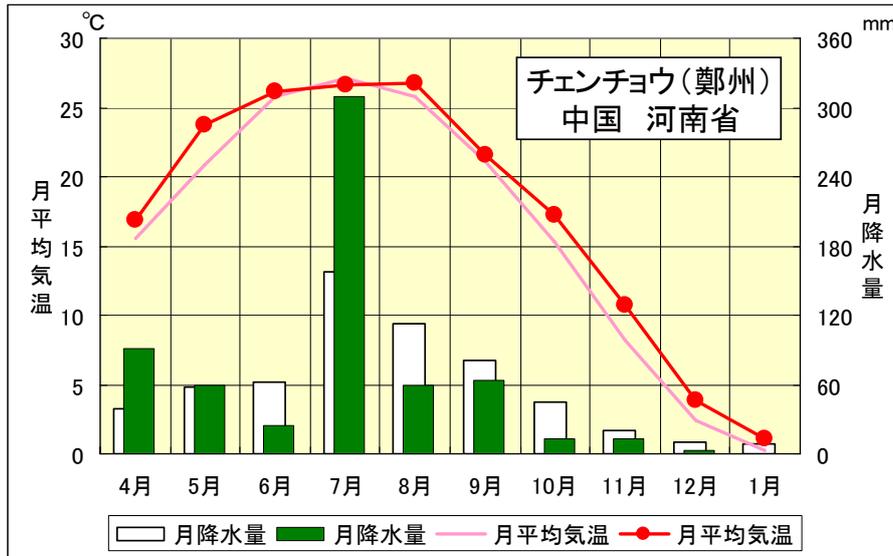


図2 チェンチョウ(中国河南省)の月平均気温と月降水量の経過図(2008年4月~2009年1月)

赤色の線が月平均気温、桃色の線が平年値を示す(°C)。緑色の棒グラフは月降水量、白い棒グラフが平年値(mm)。中国からの月毎の気象通報データに基づく。

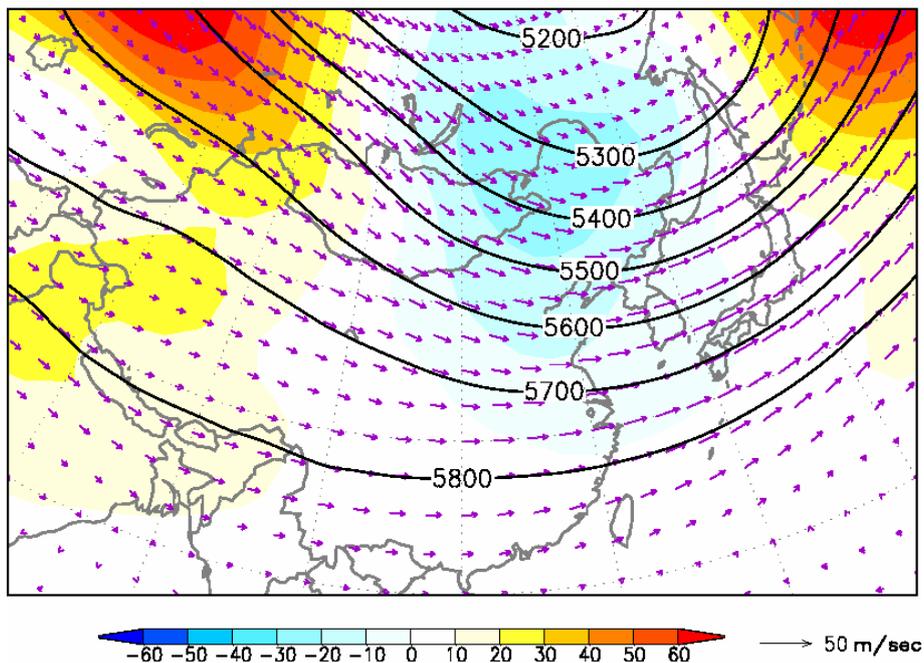


図3 上空約5千メートルの天気図(2008年10~12月)

中国東部で異常少雨となった2008年10~12月の上空の天気図。実線は3か月平均500hPa高度の等高線で気圧が500hPaになる高さを示し、色の陰影が500hPa高度の平年差を表す(単位:メートル)。矢印が500hPa高度での風の風向・風速を示す(風の強さは図の右下の凡例を参照)。